

なお、本書におけるシステム構成にて想定しているシステム運用を「表 4-36 システム運用」に示します。

表 4-36 システム運用

区分	作業項目
バックアップ	運用管理サーバの運用管理ソフトウェアにより広域連合内サーバのシステムバックアップ命令をバックアップサーバに指示することで、バックアップを取得。
ウィルス対策	運用管理サーバから広域連合内の各サーバにウィルスパターンファイルを配布。
時刻同期	広域連合と市町村間で時刻同期を行い、ログ情報の正確性を保持。
名前解決	LGWAN を利用する場合、メールサーバに DNS 機能を追加し、ホスト名・IP アドレスの名前解決を集中管理。IP アドレスの変更時など DNS サーバの設定変更のみで反映可能なため、運用・保守コストを削減。
性能情報	広域連合内サーバの性能情報（CPU 使用率、メモリ使用率など）を運用管理ソフトウェアにより、運用管理サーバでモニタリング。
監視	運用管理サーバの運用管理ソフトウェアにより広域連合内の各サーバのネットワーク状態、プロセス起動状態などをモニタリング。

#### 4. 6 その他の見積もり項目【参考】

標準構成以外に広域連合での運用等に応じて必要な機器等については、別途見積もりが必要になります。以下に個別で導入検討が必要と考えられる主な項目を参考までに記載します。(これらは標準システムを稼働させる環境や作業としては必須項目ではありません。)

表 4-37 標準システム以外で検討が必要な内容 (参考例)

No.	区分	カテゴリ	品名	用途など	
1	ハードウェア	セキュリティ	MAC 認証スイッチ	LGWAN を利用せずに専用線を開設する広域連合や、支所を専用線で接続するような市町村の場合、広域連合サーバの経路で、MAC アドレス認証を持たせ、登録している MAC アドレスのパソコンだけ通信を制御。	
2			SMS サーバ	Microsoft Update を通じてリリースされた更新プログラムを、ネットワーク内のコンピュータへ配布し、管理。	
3			認証サーバ	窓口端末等を使用するユーザ認証を行うサーバ。	
4			指紋認証, 指静脈認証装置等	窓口端末等使用時の認証を行う装置等。	
5			耐火金庫	データのバックアップメディアの保管など。	
6			プリンタ	カードプリンタ	被保険者証をカードとする場合に必要。
7			その他	プロジェクター	操作研修などで使用。(スクリーンも含む)
8				消耗品	LTO メディア, プリンタ用紙等運用していく上で必要な消耗品。
9	ソフトウェア	バックアップ	HDD バックアップソフト	障害回復用の端末 HDD イメージを保存。	
10			バックアップソフト	ブレードサーバのシステムパーティションをバックアップするサーバ用ソフト	
11		利便性	MS-OFFICE	Excel, Word, Access を利用し、簡単な統計処理が可能。	
12		データ変換	52D I S K L32 V3	審査支払システム等がホストの場合、IBM フォーマットファイルを変換する。(現在要否未定)	
13			Acrobat	OFFICE データを PDF ファイルに変換する。	
14	その他	その他	リモート操作	広域連合から市町村窓口処理サーバや窓口端末を遠隔操作して差分プログラムを導入。 また、問合せ時に、画面を見ながら回答。	
15			リモート保守	市町村用にリモート保守用ネットワーク回線を設け、市町村のシステムのバージョンアップなどのメンテナンスや、システム障害対応時の1次切り分けなどを対応。	